

## 前期基本計画 平成28年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

1. 政策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	少子高齢化の進展に対応した暮らしやすい生活基盤の整備・維持管理について、子供から高齢者まで安心して安全に暮らし、交流することで生きがいを感じることができるひとにやさしく安心・快適で活力にあふれるまちとなること。
--	---

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	75.9	76	76.7	77.4	78	78.5	D	
			74.1	74.3	-	-	-	△61.5	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A	
			72.3	78.3	-	-	-	117.1	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010000 都市づくりビジョンの策定 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	E	
			55,184	55,174	-	-	-	0.0	
2	幸福 04010000 都市づくりビジョンの策定 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	D	
			61.9	62.8	-	-	-	△1.4	
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A	
			72.3	78.3	-	-	-	117.1	
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	53.9	-	-	-	161.7	
5	暮らし 04030000 利用しやすい交通網の整備 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	35.1	35.1	36	36.5	37.5	38	D	
			31.7	30.9	-	-	-	△144.8	
6	幸福 04030000 利用しやすい交通網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	53.9	-	-	-	161.7	

前期基本計画 平成28年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
7 暮らし	04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	1	1	1	1	1	1	A 0.0	
			1	0	-	-	-		
8 幸福	04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A 117.1	
			72.3	78.3	-	-	-		
9 暮らし	04050000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	2.51	1.9	1.9	1.9	1	1	D 0.0	
			1.97	1.39	-	-	-		
10 幸福	04050000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A 117.1	
			72.3	78.3	-	-	-		
11 暮らし	04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	68.1	70	71	72	73	73.5	A 135.2	
			70.8	75.4	-	-	-		
12 幸福	04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A 117.1	
			72.3	78.3	-	-	-		
13 暮らし	04070000 効率的な汚水処理施設の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	A 169.6	
			82.5	84.5	-	-	-		
14 幸福	04070000 効率的な汚水処理施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	A 117.1	
			72.3	78.3	-	-	-		
	単位								
	単位								
	単位								
	単位								

## 前期基本計画 平成28年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義 上下水道担当部長 齋藤 善則
----------	-----------------------------------

### 2. 政策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

#### (1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の公共交通のマスタープランである公共交通網形成計画の策定に取り組みました。</li> <li>・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用ビジョンを策定しました。</li> <li>・滝沢中央スマートインターチェンジの平成31年3月完成・供用開始をめざしネクスコ東日本と連携し事業の推進を図りました。</li> <li>・国の財源の影響から道路事業の一部に遅れが生まれました。</li> <li>・水の安全管理を徹底し、老朽管の更新や地震に強い配水管の整備を進めました。</li> <li>・経営の効率化と利用者へのサービス向上のため、上下水道料金徴収業務を民間に委託しました。</li> <li>・簡易水道事業の統合を進め、平成30年4月統合の見込みがつかしました。</li> <li>・汚水処理実施計画中の公共下水道事業を推進し、合併処理浄化槽の普及に努めました。</li> <li>・下水道事業経営戦略を策定し、経営の状況と見通しが把握できました。</li> </ul>	

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心拠点、産業拠点の土地利用ビジョンを策定しました。</li> <li>・公共交通網形成計画については素案を作成し、計画策定は翌年度に繰り越しました。バスマップを作製した。</li> <li>・道路維持管理ビジョンについては総合管理計画の中において基本方針を定め、策定は翌年度に繰り越しました。</li> <li>・滝沢中央スマートインターチェンジについては新たな補助事業として採択され、安定的な財源確保の見通しが図られました。</li> <li>・周辺環境に影響のある空き家についての調査、働きかけを実施するとともに関係機関との協定締結を行いました。</li> <li>・上下水道料金徴収業務の委託によりお客様センターが稼働しました。</li> <li>・下水道事業計画の変更について説明会を開催するなどして周知に努めました。</li> <li>・下水道の接続、合併処理浄化槽の普及活動を行いました。</li> </ul>	

### 3. 政策の実現に向けて平成28年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業における国からの財源確保</li> </ul> <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川 災害に対する対応</li> <li>・水道 広域化の検討と簡易水道統合後の経営課題</li> </ul>	

### 4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

#### (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい財政状況において、部内事業の優先順位付けを行いながら全体の計画を調整し、引き続き安全、安心な生活基盤づくりのための取組を進めます。</li> <li>・上下水道事業はアセットマネジメントや長寿命化を推進するため、資金の安定した確保と職員の技術力が向上する活動を行います。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小岩井駅前広場の整備のH30事業化の調整・道路維持管理計画、道路整備計画の策定・空き家対策の継続展開と新たな協定締結</li> <li>・汚水処理事業の今後の展開（公共下水道と合併処理浄化槽）</li> <li>・上下水道事業に携わる職員の技術力向上と人員確保及び下水道事業経営の安定化</li> </ul>	

